

文化遺産&芸術文化

— 社会学の視点でみる —

第一回

十月一七日(金)

午後六時～午後七時半

「文化遺産への視点」 小川 伸彦(文学部准教授)

第二回

十月二四日(金)

午後六時～午後七時半

「地域社会と芸術文化」 水垣 源太郎(文学部准教授)

ところ 奈良女子大学 N棟101教室

入場無料・申し込み不要・来聴歓迎 (どちらか一回のみの聴講でもかまいません)

現代の社会では、文化に関わる活動は、個人が自由に行う私的な活動にとどまらず、国・自治体・地域社会・民間施設・マスメディア・NPOなどが連携しながら取り組むべき公的な活動であると考えられています。「文化力」を通じた地域の活性化が唱えられる今日、文化的資源の発見や創造への関心がたかまる一方で、文化とのかかわり方それぞれ自体も問い直されるようになっていきます。

私たちの社会は文化遺産や芸術文化活動とどのように関わればよいのか、本講座では社会学の視点から考えます。

- ◆主催 奈良女子大学文学部
- ◆協力 奈良女子大学「なら学プロジェクト」
- ◆お問合せ先

奈良女子大学学務課文学部係(構内大学院F棟2階)

T630-8506 奈良市北魚屋西町

〔電話〕 0742-20-33280

〔ファックス〕 0742-20-3234

〔電子メール〕 gakumuka@cc.nara-wu.ac.jp

〔ホームページ〕

